

栄光・富・欲望・SEX・愛・ロマン…

そして…

イナゴの日

■一九三〇年代、ハリウッドに甘い蜜を求めて
イナゴの大群のように集まった人々

ドナルド・サザーランド
カレン・ブラック
ウイリアム・アザートン
パトリック・マクドナルド
スティーヴン・ベイン



THE DAY OF THE LOCUST

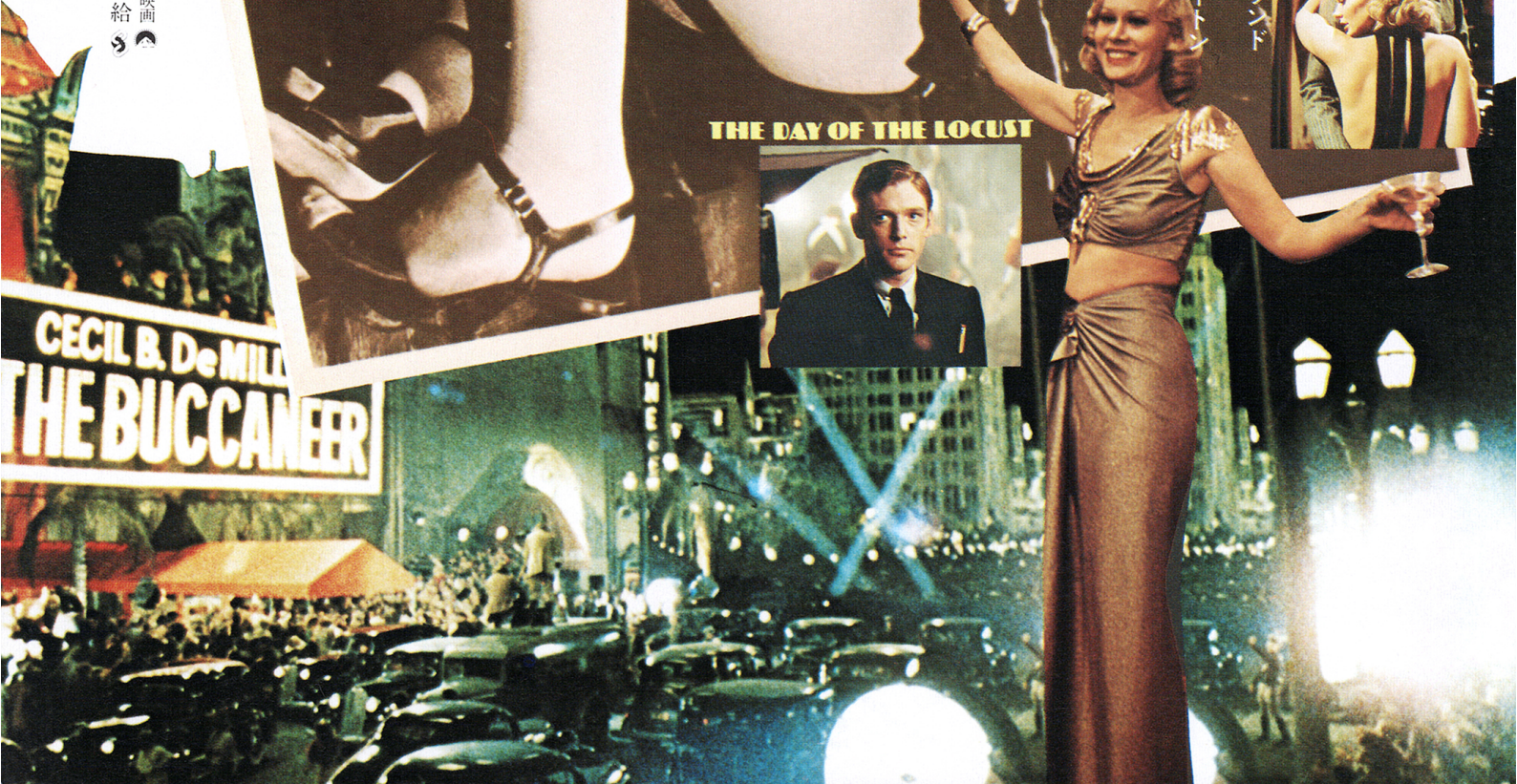


パラマウント映画
C I C 配給

●アカデミー賞に輝く栄光のベスト・スタッフ!

ジョン・シュレンジャー(監督) ジェローム・ヘルマン(製作) ウォルド・ソルト(脚色)
コンラッド・ホール(撮影) ショーン・バリー(音楽) が贈る堂々2時間半の文芸大作!

CECIL B. De MILLE
THE BUCCANEER



イナゴの日

THE DAY OF THE LOCUST <カラー作品>



パラマウント映画
C I C 配給



監督・脚本
原音撮

製作……ジェローム・ヘルマン
監督……ジョン・シュレシンジャー
原作……ナサニエル・ウエスト
脚色……ナサニエル・ウエスト
脚本……ナサニエル・ウエスト
音楽……ジョン・バリ

ホーマー・シンプソン……ドナルド・サザーランド
フレイ・グリーナー……カレン・ブラック
ハリ・グリーナー……バージェス・メレディス
トッド・ハケット……ウィリアム・アサートン
シスター・シスター……ジュリアン・ベイン
オール・シェーフ……ボブ・ホプキンス

★アカデミー賞に輝やく

栄光のスタッフが集結!

監督ジョン・シュレシンジャー、製作ジエローム・ヘルマン、脚本ウオルド・ソルトの三人は前作「真夜中のカーボーイ」でそれぞれアカデミー賞を獲得、ハイウッドに一つの新しい流れをつくった。その三人が、それ以来執念のようにとりくみ、遂に完成した意欲満々の超大作がこの「イナゴの日」である。一九三〇年代、黄金時代のハリウッド。その内幕を描いたナサニエル・ウエストの原作を忠実に再現するため、巨大なオープンセットが生まれ、往年のハリウッドが戻ってきた感がある。その時代色を十分に考えた撮影は「明日に向かって撃て!」でアカデミー賞を受け、その力量を買われていたコンラッド・ホールが、音楽も「野生のエルザ」「冬のライオン」と二度もアカデミー賞に輝いているベテラン、ジョン・バリが担当、当時のヒット曲を全編に織りこむなど、見事な仕事ぶりである。

★異色・多彩なキャストインゲ

台詞のある役者だけでも40名以上というこの超大作のヒロインには、数ある候補者を退けて「華麗なるギャツビー」「エアポート75」と躍進めざましいカレン・ブラック、この映画の企画と同時にホーマー役に立候補して、大役を得た「マッシュ」のドナルド・サザーランドは、役になりきるため撮影開始までに体重を18キロも増やすというモレツぶり。そしてシュレシンジャー監

★想像を絶する戦慄の

クライマックス!

クライマックスの群集場面だけに費された撮影日数は14日間、その費用は3億円を上回り、その場面だけに雇われたエキストラは二千人を越えたが、その恐怖感はとも筆舌では表わせないもの凄さ。それだけでも一見の価値があるというもの。また、劇中劇として紹介される戦争場面の大スタジオ・セットは、これまでの映画史上でも類を見ない大規模なもので、ハリウッドの良き時代を物語っている。

★アームストロングが歌う

三〇年代のヒット・メロデー

映画のバックに流れる当時のヒット・メロデーは全部で16曲。ルイ・アームストロングの歌う「ジーパズ・クリーパーズ」を初め、クラシック・ファンには応えられない贈りものといえよう。

数々の話題を提供して「イナゴの日」は、今、公開を待つ。

原作者 ナサニエル・ウエスト

「華麗なギャツビー」の原作者F・スコット・フィッツジェラルドと並び、失われた世代の代表作家。自動車事故により、37才でこの世を去るまでは、その才能はあまり世間では認められなかったが、その悲劇的な死により人々の関心を誘い、それまでに完成していた四冊の作品は、いづれも爆発的な売れゆきを見た。特に、この「イナゴの日」と孤獨な娘(MISS LONELYHEARTS)は、アメリカの多くの大学で必読の書とされている。しかも、「イナゴの日」は彼が、ハリウッドの映画会社のために脚本家として活躍していた一九三〇年代後半の世相を背景にした赤裸々な物語で、その奇怪な人間模様とグロテスクな世界の描写が多くの読者をつかんだ。



次回ロードショー!

東銀座

東

劇

(541)
2711

地下鉄東銀座駅下車